

2008年10月9日

デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社

## マルチウィンドウ視聴に関するユーザー環境調査

デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:矢嶋弘毅)では、生活者の視聴環境の変化を正確に把握して、今後ますます需要増加が期待されるクロスメディア型広告商品の開発等に生かすため、マルチウィンドウ視聴(=テレビ・パソコン・携帯電話等、複数のメディアを同時利用して視聴すること)に関するユーザー環境調査を行いました。

この結果について、以下のとおりお知らせいたします。

### 【調査の目的】

生活者は、その視聴環境の変化により、インターネットを利用しつつテレビを見るなど、複数のメディア(視聴デバイス)へ同時に接触する機会が増えていると考えられる。

このようなユーザーの視聴環境を正確に把握することで、今後のクロスメディア型広告商品開発に活用するとともに、新たな広告効果指標を検討する材料とする。

### 【調査の概要】

タイトル : マルチウィンドウ視聴に関するユーザー環境調査

調査対象者 : 20～59歳の男女 インターネットユーザー

調査方法 : インターネット調査

調査機関 : 株式会社エルゴ・ブレインズ

サンプル数 : 20～59歳の男女 1000 サンプルを人口構成比に基づいて回収

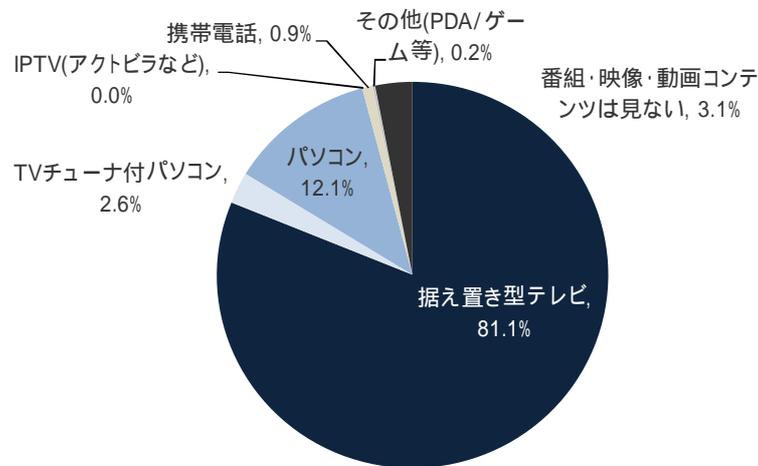
調査期間 : 2008年6月23日～2008年6月26日

調査項目 : 「利用するデバイス」「配信・放送方法」「視聴コンテンツ」「視聴形態」「視聴場所」「視聴態度」「属性項目(性別、年齢、職業、居住地、未既婚、子供の有無、世帯年収)」

### 【調査結果】

- 最も利用される映像視聴デバイスは「据え置き型テレビ」で、ユーザーの81%が利用している。
- ユーザーの68%が、何らかのデバイスでマルチウィンドウ視聴を行っている。
- 「据え置き型テレビ」を視聴中に同時に利用するデバイスとしては、「パソコン」が最も多い(53%)。
- 別のデバイスと「パソコン」を同時利用しているユーザーの88%が、インターネットに接続している。

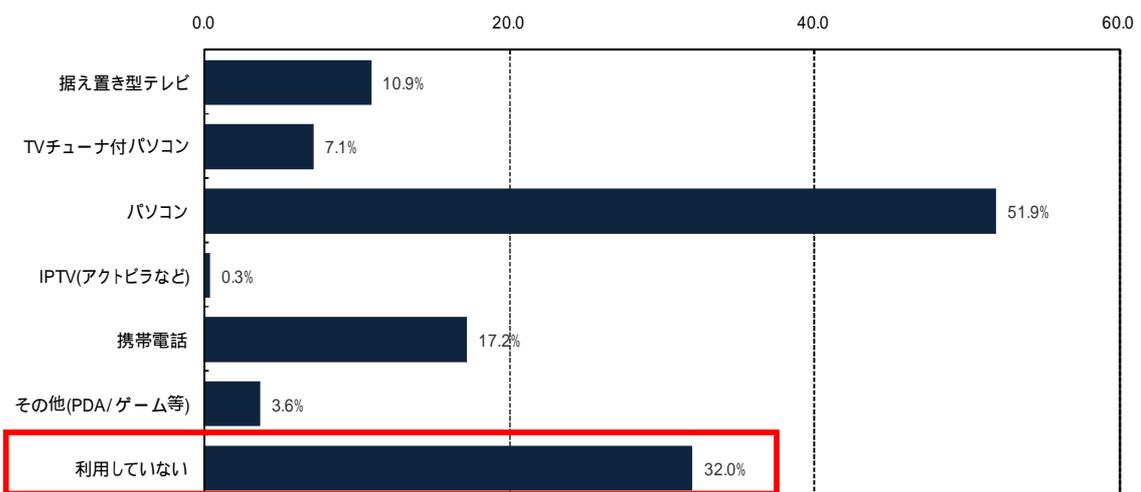
### 映像コンテンツを見る際に主に利用するデバイスは？



映像コンテンツ(TV 番組、動画、映画等)を視聴する際に主に利用するデバイスを聞いたところ、メインで利用するデバイスとしては「据え置き型テレビ」の比率が最も高く(81.1%)、次いで「パソコン」(12.1%)、「TV チューナー付パソコン」(2.6%)となった。

本調査では、テレビ視聴とインターネットの利用環境の把握がテーマである。そのため「web 接続できるテレビ(IPTV)」と「テレビ地上波視聴のためのテレビ(据え置き型テレビ)」、「テレビを視聴できるパソコン(TV チューナー付パソコン)」と「パソコン」を別のデバイスとして捉え調査した。

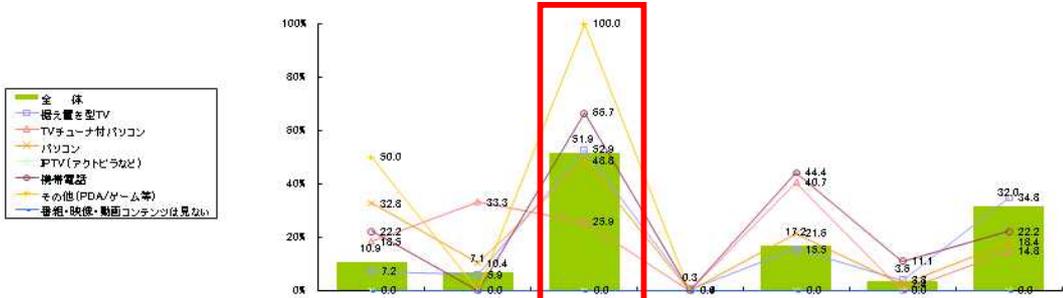
### 映像コンテンツを見る際に主に同時利用するデバイスは？



(n=1,000 複数回等)

映像コンテンツを視聴する際には、68.0%のユーザーが何らかのデバイスをつかってマルチウィンドウ視聴を行っていた。また、主に利用するデバイスと同時に利用する他のデバイスとしては「パソコン」の割合が最も高かった。(51.9%)

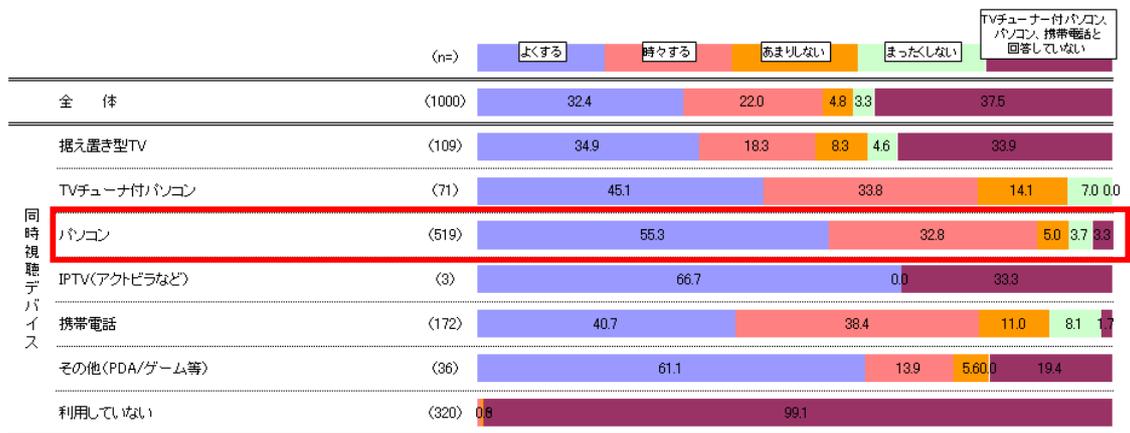
### 主に視聴するデバイスと同時視聴する他のデバイスは？



	(n=)	据え置き型テレビ	TVチューナー付パソコン	パソコン	PTV(アクトピラなど)	携帯電話	その他(PDA/ゲーム等)	利用していない
全体	(1000)	10.9	7.1	51.9	0.3	17.2	3.8	32.0
主に見るデバイス								
据え置き型TV	(837)	7.2	9.9	32.9	0.4	15.5	3.8	34.8
TVチューナー付パソコン	(27)	16.5	33.3	25.9	0.0	40.7	0.0	14.8
パソコン	(128)	32.8	10.4	48.8	0.0	21.6	2.4	16.4
PTV(アクトピラなど)	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
携帯電話	(9)	22.2	0.0	65.7	0.0	44.4	11.1	22.2
その他(PDA/ゲーム等)	(2)	30.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
利用していない	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

「据え置き型テレビ」で映像コンテンツを視聴中に同時利用するデバイスとしては、「パソコン」の比率が最も高く(52.9%)、次いで「携帯電話」の比率が高かった(15.5%)。

### 同時視聴デバイスごとの視聴中のインターネット接続状況は？



映像コンテンツを視聴中に、同時視聴しているデバイスで、インターネットに接続する割合(よくする+時々する)は、「パソコン」の比率が 88.1%と最も高く、次いで「携帯電話」(79.1%)、「TV チューナー付パソコン」(78.9%)となった。

以上

本調査に関するお問い合わせ先:

デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社

担当: メディア本部・メディア戦略室 砂田

TEL: 03-5449-6350